

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：植物園と博物館で学ぶ植物学 ILAS Seminar :Learning botany in botanical gardens and natural history museums			担当者所属 職名・氏名	理学研究科 准教授 布施 静香 理学研究科 教授 田村 実		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール (対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2024・ 前期集中	受講定員 (1回生定員)	12 (12) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	集中 5月11日(土) 13:00から(初回 ガイダンス)	教室	北部構内理学研究科6号館404室(初回ガイダンス)、京都府立植物園、大阪公立大学附属植物園、兵庫県立人と自然の博物館等(北部構内)			使用言語	日本語
キーワード	生物多様性 / 植物学 / 分類学 / 植物園 / 自然史系博物館						
[授業の概要・目的]							
植物は私たちのすぐ近くに在り、その学びの場は学内にとどまらない。本科目では、京都府立植物園、大阪公立大学附属植物園、兵庫県立人と自然の博物館へ行き、様々な植物の実物に触れ、植物学の基礎を確認しながら、植物分類学を通じて多様な植物の見方を学ぶ。 植物を広く学びたい・知りたいと思っているが、今まで勉強する機会がなかった方、植物学に興味のある方を歓迎する。植物園や自然史系博物館に興味のある方も歓迎する。							
[到達目標]							
・植物の観察方法、識別方法、植物多様性の学び方を生きた植物に基づいて理解する。 ・植物学における標本の意義と役割を理解する。 ・植物の理解に向けて自主的、継続的に取り組む力を養う。							
[授業計画と内容]							
第1回 5月11日(土) 13:00～16:00 場所：北部構内理学研究科6号館404室 初回ガイダンスと京都大学大学院理学研究科附属植物園（北部構内）で事前学習を行う。 第2回 5月25日(土) 場所：京都府立植物園 熱帯植物を含む様々な植物の実物を観察しながら、植物の形態的特徴と類縁関係、そして系統を学ぶ。 第3回 6月8日(土) 場所：兵庫県立人と自然の博物館とその近隣施設 植物学における標本の意義と役割を学ぶ。また、標本庫を見学し、標本の整理方法・収蔵方法を学ぶ。 第4回 7月13日(土) 場所：大阪公立大学附属植物園 日本の様々な樹林型に生育するな植物を観察しながら、植物の同定方法（名前の調べ方）を学ぶ。また、学術的に価値のある植物標本の作製方法を学び、実際に作成する。							
ILASセミナー：植物園と博物館で学ぶ植物学(2)へ続く↓↓↓							

第5回
フィードバック

第2回～第4回は日帰りで授業を行い、各回レポート課題を実施する。各回の集合時間・集合場所等は初回ガイダンスで説明する。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

授業への参加状況と取り組み姿勢（70%）、レポート（30%）によって評価する。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

植物は季節の変化に応じて、観察できるもの（形質・情報・種類）が異なる。通学路、京都大学構内、京都大学理学研究科附属植物園などを活用し、積極的にさまざまな植物に触れ関心を深めておいてほしい。

[その他（オフィスアワー等）]

- ・1回生の履修者で定員に余裕がある場合には、2回生以上の学年でも参加可能。
- ・第2回～第4回は学外で実施する。各回日帰り。
- ・第2回と第4回の交通費（現地集合・現地解散のため）と入園料、第3回の入館料は受講生の負担となる。総額約2,400円を予定。
- ・学生教育研究災害傷害保険に加入すること。
- ・教員への連絡は電子メール（布施宛）を推奨する。